

第8回和光ブランド認定推進委員会 会議録

日時 平成26年2月21日（金）

10:00～11:00

場所 和光市役所6階 603会議室

出席 委員（◎委員長、○副委員長）

◎第1号委員 郭 洋春 委員（立教大学 教務部長・経済学部教授）

第3号委員 池田 作治 委員（あさか野農業協同組合 和光支店長）

○第4号委員 吉澤 茂 委員（㈱スカイ・テクノ 代表取締役）

第5号委員 小野寺 洋子 委員（㈱光英科学研究所 専務取締役）

第6号委員 梅沢 直 委員（市民公募）

事務局

産業支援課長 川辺 聡

産業支援課課長補佐兼産業育成支援担当統括主査 遠藤 秀和

産業支援課産業育成支援担当主事 岡田 明子

欠席 第2号委員 富岡 健治 委員（和光市商工会 副会長）

第5号委員 二宮 真由美 委員（favorite 代表者）

傍聴 0人

司会進行 産業支援課長

1 開会

2 委員長あいさつ

3 審査方法

4 審査会

(1) 10:10～ 深野修他 いちご

5 その他

6 閉会

3 審査方法

審査方法について（事務局）

- …申請者説明 5～10分、質疑応答 5分、評価 5～10分で1社につき20分の時間で行う。また、今回の審査するいちごについては、7件の農家が栽培しているため、説明時間を考慮し、市農業振興担当が農家から事前に聞き取りを行った上で、説明を行う。

資料：和光ブランド認定審査方法

4 審査会

(1) 10：10～ 深野修他 いちご

（申請者説明）

申請書のとおり

（質疑応答）

- ・いちごは、年間どのくらい生産されていますか？
生産量は、把握していませんが、施設栽培の方は1500万円直売に出荷している方は、80万円程度となっております。
- ・品種は、どのようなものがありますか？
宝交、とちおとめ、あきひめ、べにほっぺ、やよいひめです。
- ・和光市は、いちごづくりに適しているのか？
和光市は関東ローム層であり、野菜づくりに適しており、いちご作りにも適してします。
- ・区画売りも行っているようですが、1区画は何株なのですか？
1区画50株です。
- ・今後、いちご栽培をする農家が増える可能性は？
ブランドに認定されることにより以前栽培している農家の方が栽培を再び開始したり、新たに開始する方が出てくるのが考えられます。
- ・年間を通じて出荷することは可能ですか？
ハウス栽培により12月から5月までの間、出荷することが可能です。
- ・個々の農家でなく、組織的に生産、出荷を行った方がブランドとしては、よいのでは？
以前、和光市にはいちごの生産組合があったこともありますので、組織化については今後検討していきます。
- ・品種を決めてブランドにしてはどうですか？

和光市の地理的特性を踏まえ、品種を定めずにブランドを指定したい。

(評 価)

(集計・報告) 審査結果 (55点満点/合格基準点40点)

審査平均点 40.0点《認定》

資料：和光ブランド認定申請書、認定申請評価表

5 その他

- ・和光ブランドPR用のぼり、ステッカー、シールについて報告